

# 週刊大貫のり夫

## 市政ファイル No.358



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2012年9月19日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

## 大胆な発想と政策の転換を

### 横浜市第3回定例会で、白井まさ子議員が一般質問

横浜市議会本会議では11日一般質問が行われ、日本共産党を代表して白井まさ子議員が、来年度予算編成、学校施設の耐震化、中学校プール整備の拠点校方式、神奈川県緊急財政対策、米軍施設の返還等について質問しました。

林文子市長は5日、「25年度予算編成スタートにあたっての市政運営の基本的な考え方」を示しました。白井議員は、その考え方において、災害対策で人命被害ゼロの視点に欠けていること、企業を外から呼び込む外発的産業中心の政策はやめ、中

小企業の直接的な支援策に軸足を移すこと、30人学級や中学校給食など他市に遅れている子ども施策を進めることを強調し、「大胆な発想と政策の転換を図るべき」として、市長の見解を質しました。(2面に続く)



林文子市長(左)に予算編成にあたっての申し入れを行う日本共産党市議団。右から3人目が私・大貫=8月28日、横浜市役所

**Twitter facebook** ご覧ください

## 学校の耐震化や点検の遅れは命の軽視

(1面より)

林市長は、災害対策や中小企業支援は施策推進方針での重点施策としているが、将来の横浜経済の発展のためには外から活力を取り込むことは不可欠として、企業誘致や観光MICEの推進などにも力を入れると答えました。子育て支援の分野については、保育所待機児童解消や児童支援専任教諭の配置など、きめ細かな施策を推進していると答弁。市民の願いと市長の思いに乖離があることが明らかになりました。

### 天井や照明器具は専門家の点検を

横浜市は、学校施設の耐震状況について渡り廊下を文部科学省への報告対象から除外し、昨年まで耐震補強の対象としていませんでした。また、天井や照明器具の落下防止などの点検を学校任せにしてきました。白井議員はこれらについて「人命軽視」だと指摘し、天井などの落下物

や転倒物については教育委員会として責任を持って、専門家による詳細点検を行うよう求めました。

山田教育長は、学校施設については渡り廊下なども含めて平成27年度までに完了するよう耐震対策を進めている、非構造部材の詳細調査は学校からの要請により必要に応じて教育委員会が対応していると答弁しました。

### 補助金廃止中止求めよ

神奈川県は、市町村への補助金や県有施設の廃止を進めようとしています。白井議員は、市への県独自補助金は155億9300万円となり、市の小児医療費助成事業や重度障害者医療費助成事業も含まれていると指摘。補助金削減などで市民負担増やサービス低下など市民生活に重大な影響が考えられるとして、「県として意思決定される前に廃止・削減を中止するよう主張すべきだ」と市長に迫りました。

林市長は、「財政状況が厳しいのは市町村も同じ」とした上で、「県と市の役割やこれまでの経緯などを含め慎重に検討してもらいたい」と答弁。具体的な考え方が示された時には市への影響を精査し、対応すると答えました。



## 市の財政の使い方に問題あり

# 高速横浜環状北西線より「防災」を

現在行われている市議会で高速横浜環状北西線建設をスタートさせるための補正予算が自民、民主、公明、みんなの党などの賛成で可決されました。

北西線は京浜第三港北インターから東名青葉インターをつなぐ延長7.1キロの高速道路で、総事業2200億円、横浜市負担分650億円という大型公共事業です。

林市長は建設理由の一つに「災害対策」を掲げています。横浜で地震等災害がおきた際、全国からの緊急援助物資をスムーズに受け入れるためというものです。しかし、実際は、国の3・11東日本大震災の教訓を逆手にとって「防災」に名を借り大型公共事業をすすめる「日本再生戦

略」「国土強靱化政策」を先取りしたものです。

地震災害では、横浜・東京首都圏は世界一危険な地域とされています。本当に市民の生命・財産を守るのならば、北西線建設に投入する650億円を、市内の生活道路や木造住宅密集市街地整備、横浜駅周辺地域や宅地造成地の不安定地盤や石油コンビナート防災対策などなど、すぐにも手を打たなければならない災害予防対策のために使うべきです。

北西線建設については、計画ありきではなく、人口減少や産業構造の変化のなかで、本当に必要なのか市民討議が必要です。それまで凍結することを提案します。



# おおのい通信 福島第二原発 視察記(5)

# 原発「即ゼロ」は当然

視察記最終回です。私が福島第二原発の視察で直感的に思ったのは、「原発ってこんなにチャチなもの？」ということです。

現に3・11では原子炉の海水熱交換器などの周辺機器やそれをつなぐケーブルがずたずたに破壊されました。その上、深夜や土日など現場で働く人たちが少ない時に巨大津波や地震が起きたときは手の打ちようがないことも明らかになりました。危険極まりのない福

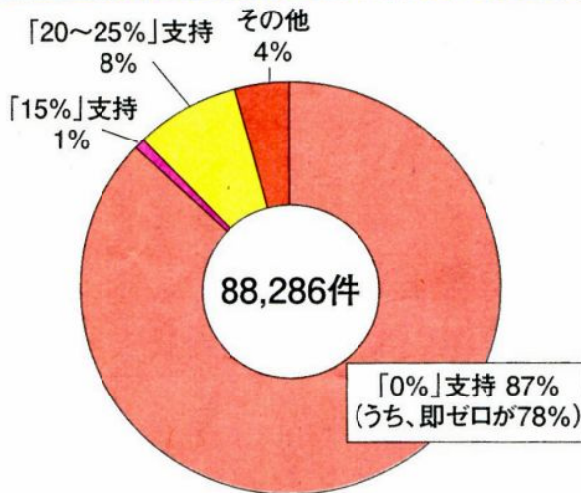


写真は新たに作られた浸水防潮堤。土嚢を数段積んだだけでは津波対策にはならないのでは？  
＝東電提供資料から

島第二原発は廃炉が当然です。世界の原発事業の最先端をいく東京電力の原発でさえ、この状況です。原発は「即ゼロ」にしなければなりません。

政府が行った意見公募でも原発ゼロ支持が87%、そのうち「即ゼロ」が78%に達しています。政府は新エネ戦略で「30年代に原発稼働をゼロ目標」なんていう、まるで「原発存続宣言」のような発表をしました。全国津々浦々で「原発ゼロ」の運動をさらに大きく広げていかなければなりません。

2030年の原発依存度をどうするか、三つの選択肢のパブリックコメント(意見公募)の結果



ミジンコの独り言 尖閣諸島国有化に抗議する中国の反日デモは凄まじい！参加は若い人が多いようで、反日教育の成果？だいたい国境なんてものがあるから尖閣諸島や竹島問題があるわけで、ジョシ・リカの「イマジン」のように「世界はひとつ」になればこんな問題はなくなる、でもそれってやっぱり夢想家？。(M)